

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年7月16日(2020.7.16)

【公開番号】特開2019-110598(P2019-110598A)

【公開日】令和1年7月4日(2019.7.4)

【年通号数】公開・登録公報2019-026

【出願番号】特願2019-40515(P2019-40515)

【国際特許分類】

H 04 W 56/00 (2009.01)

H 04 W 92/18 (2009.01)

H 04 W 72/02 (2009.01)

H 04 W 8/00 (2009.01)

【F I】

H 04 W 56/00

H 04 W 92/18

H 04 W 72/02

H 04 W 8/00 110

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年6月2日(2020.6.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

制御するネットワークインフラストラクチャノードを伴わない3rd Generation Partnership Project(3GPP)ロングタームエボリューション(LTE)アーキテクチャにおいて、デバイス間の無線リンクを可能にするための方法であって、前記方法では、個々のデバイスが他のデバイスと通信するためにフレーム長におけるタイムスロットを選択し、前記方法は、複数の存在信号を利用し、1つの存在信号は、デバイスのグループの識別に関連する一次同期信号と、ランダムに選択された一時的なデバイス識別子に関連する二次同期信号とを含み、前記方法は、第1のデバイスにおいて、

チャネル上で別のデバイスからの存在信号をリッスンすることと、

別のデバイスからの前記存在信号が検出される場合、

前記存在信号に対する確認応答を伝送することと、

前記存在信号の少なくとも1つのシーケンスを利用することによって、前記第1のデバイスのタイムスロット境界を前記存在信号に関連付けられたタイムスロット境界に整合させることと、

リッスンすることによって、前記第1のデバイスの存在信号を伝送するための空きタイムスロットを選択するモードに切り替えることにより、別のデバイスの存在信号を有しないフレーム期間内で複数の空きタイムスロットを決定することと、前記決定された複数の空きタイムスロットから1つの空きタイムスロットを選択することと、前記選択された空きタイムスロット内の存在信号を伝送することと、確認応答が受信される場合、前記第1のデバイスが前記存在信号を周期的に伝送するための前記タイムスロットを選択することと

を含む、方法。

【請求項 2】

前記存在信号は、 Z a d o f f - C h u ルートシーケンスを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

別のデバイスからの前記存在信号が、所定の数の 1 つ以上のフレーム期間およびランダムに生成された競合期間内で検出されない場合、

前記第 1 のデバイスが、タイムスロット境界を開始することであって、前記タイムスロット境界を開始することは、選択された時間スロット内で前記第 1 のデバイスの第 1 の存在信号を传送することを含む、ことと、確認応答が別のデバイスから受信される場合、前記第 1 のデバイスによって使用される前記タイムスロット境界を確立することと、前記第 1 のデバイスが前記存在信号を周期的に传送することであって、前記第 1 のデバイスが前記存在信号を周期的に传送することは、前記確立されたタイムスロット境界への整合を可能にする、ことと

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 8 8】

ロック 822 で、または図 9 のメッセージ 910 に関する、PS のブロードキャストは、PSS および / または SSS に加えて、またはそれと同時に、システムフレーム番号 (SFN) を含んでもよい。SFN は、SFN が最初の伝送のために 0 に設定され得る、経過した発見期間 (フレーム) の数を追跡するように、ブロードキャストされてもよい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 8 9】

TS 境界を確立した後、TS 境界を確立したデバイスは、全発見期間の最初の TS 上で PS および SFN を周期的にブロードキャストしてもよい。SFN は、各フレームに 1 だけインクリメントされてもよい。